

霊泉「ヨシヤーの湯」

「ヨシヤーの湯」の由来

甲斐国志に「塩川ノ霊泉、塩川組ニアリ、冷泉ナリ」と記載されており、その存在は古くから知られていました。この霊泉は、旧塩川集落から塩川沿いに上流約1kmの水田の片隅の「よし」や「あし」の中に湧き出し、沸かして風呂湯とした湯小屋が近くに作られ、切傷や神経痛などにも効くと評判が立ち、集落の人ばかりでなく遠方からの湯治客も利用していたと言われています。このことから、「ヨシヤーの湯」と呼ばれていたそうです。

しよっぱい「ヨシヤーの湯」

平成24年の水質検査では、ナトリウム及びその化合物が845mg/L、塩化物イオンが1390mg/Lの他、蒸発残留物が検出されるため飲用には適していませんが、塩味が強く、また、サイダーのような炭酸水の味がします。塩味にする霊泉は、その昔、塩を取ったと伝承されており、「塩川、昔山塩ヲ産シ水一升ニテ三勺余リ有ト云ウ」との記録が民家に残されています。

「塩川」の由来

この霊泉は塩味がすることから、いつのころからかこの流れを「塩川」と呼ぶようになったとされています。

当事務所では、川名の由来ともなっているこの霊泉の存在を、塩川ダムの建設に協力頂いた地域に代わって後世に伝えていきます。

